

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成  
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		障害福祉サービス給付事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	古武城 卓
	施策	16	高齢者・障がい者の自立促進と社会参加			所属課	福祉課	担当者名	澤田 哲郎
	基本事業	51	障がい者への在宅福祉サービスの充実と社会参加の推進			所属班	障がい福祉班	(内線)	2133
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	障害者自立支援法		
	1	3	1	3	10537		成果優先度評価結果	2	
							コスト削減優先度評価結果	4	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H18 年度)					
				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	各種障害福祉サービスの支給決定を行ない、利用に係る介護給付費・訓練等給付費の公費負担分を障害福祉サービス業者に支払う(国保連合会を経由)
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	従来の支援費制度に変わり、平成18年4月から開始された開始直後より対象者からの負担増に対する不満が出ている。これまで、2回にわたり利用者負担の見直し(軽減)が行われた。さらに、平成22年4月からは非課税の方の利用者負担を免除する予定。また、将来的に障害者自立支援法を廃止し、新たな法律を制定する見込み
【業務の流れ】	平成19年10月から請求事務が国保連合会に委託されており、国保連からの請求に基づき支払いを行なう
【主な予算費目】	報酬、職員手当、需用費、役務費、負担金、扶助費
【意見や要望】	・利用者負担の軽減 ・平成22年8月の健康福祉常任委員会において「今後の方向性、事務事業統合、連携の中身について具体的に記入する」という指摘があった。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行なった主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
障害福祉サービス事業者に対して、介護給付費・訓練等給付費の支払いを行なった。	利用者負担の変更を行い、21年度同様に実施する
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	(単位)
→ ア:申請者数 人	イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
障害福祉サービスが必要な障害者(児)	→ ア:障害者手帳所持者数 人
	→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
必要な障害福祉サービスを給付する。	→ ア:障害福祉サービスを受けている障がい者数 人
	→ イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	
障がい者が日常生活において適切にサービスを受けられているかどうかをサービス受給者数で把握する	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込		
④ 活動指標	ア 人		247	306	309	342	345	347	349		
	イ										
⑤ 対象指標	ア 人		2,322	2,381	2,480	2,556	2,596	2,636	2,676		
	イ										
⑥ 成果指標	ア 人		247	306	309	342	345	347	349		
	イ										
投資入量	事業内訳	国庫支出金	千円	200,000	212,806	213,000	229,401	243,354	255,521	268,297	
		都道府県支出金	千円	100,000	103,215	106,950	115,224	130,474	136,997	143,826	
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	100,000	94,312	109,415	142,370	129,116	135,574	142,352	
		(A) 事業費計	千円	400,000	410,333	429,365	486,995	502,944	528,092	554,475	
		(A)のうち指定経費	千円								
		(A)のうち時間外、特勤	千円								
		正規職員従事人数	人	5	5	5	6	6	6	6	
延べ業務時間	時間	1,700	1,700	1,700	1,884	2,374	2,374	2,374			
(B)人件費計	千円	6,749	6,800	6,766	7,498	9,449	9,449	9,449			
トータルコスト(A)+(B)	千円	406,749	417,133	436,131	494,493	512,393	537,541	563,924			

総トータルコスト	全体計画
~ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	
	0
	0
	0

事務事業名	障害福祉サービス給付事業	所属部	健康福祉部	所属課	福祉課
-------	--------------	-----	-------	-----	-----

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<p>今年度は報酬単価の増額や利用者負担の軽減の継続、平成22年度は低所得者の負担免除など制度の変化が多い事業であり、毎年制度改正が行われている。予算面においても利用者負担の免除に伴い補正の必要が生じるものと思われる。</p>
---

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止    <input type="checkbox"/> 休止    <input type="checkbox"/> 目的再設定    <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携    <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)    <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			△	低下			△
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			△																		
	低下			△																		

## (3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

特になし。